

フードバンクかながわ 通信

「もったいない」を「分かち合い」「ありがとう」へ



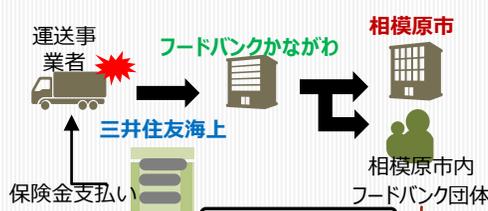
2021.11

36号

めざせSDGs

相模原市×三井住友海上火災保険(株)×フードバンクかながわ

食品の流通時に発生した損害品をフードバンクに提供し、食品ロス削減と食品支援体制を構築する協定を締結。



- ・生活困窮者
- ・大学生やひとり親家庭
- ・こども食堂



関東学院大学生



関東学院大学学生が動画撮影に訪問。ユーチューブにアップ。SDGsの一環でフードバンクを取材・学びの対象とする企画が小学校～大学生まで増えてきた。

ユーコープ理事研修ボランティア



無印良品 フードドライブ拠点拡大

フードドライブ実施を現在の19店舗から県内38店舗に拡大

日生協よりヌードルきつねうどん12,000個寄贈

賞味期限の関係で大学・行政の学生・ひとり親支援に活用



横浜市立大学内でのフードドライブ



連合神奈川青年委員会研修



高山山真言宗青年教師会フードドライブ



川崎信用金庫社内フードドライブ



横浜岡田屋のフードドライブ 横須賀モアーズシティ×フードバンクかながわ



第一生命 弥生台



西湘地区労働者福祉協議会 箱入りコシヒカリ 1.8トンの寄贈



社会福祉法人の米一合運動



アンリツ労組災害備蓄品の提供



神奈川県SDGsアクションに向けたフードドライブの実践 県内50団体に拡大中



日本農産工業(株)よりスープ3万個寄贈

ヨード卵光の卵スープ、ふかひれスープ



東京サラヤ(株)社内フードドライブ実施



JA横浜 川上支部女性部 磯子支部女性部



Y.S.C.C三ツ沢球技場 サッカー試合でフードドライブ



伊達建設 フードドライブ



生活協同組合ナチュラルコープヨコハマより 寄贈 米1.5トンの寄贈感謝状を贈呈



山形県米生産者から寄贈

「山形県遊佐町の今野修です。特別栽培米ひとめぼれお送りします。ご活用ください。」



(2020年度実績 寄贈 210トﾝ・提供 194トﾝ)

基本情報 2021年度の累計 (2021/10/31現在)

寄贈食品計	132.6トﾝ	提供食品計	1431回	137.5トﾝ
企業・生協等	84.8トﾝ	行政・社協	349回	28.0トﾝ
フードドライブ	38.2トﾝ	地域フードバンク	282回	42.5トﾝ
寄付金購入	9.6トﾝ	子ども食堂等	581回	45.3トﾝ
		支援施設等	31回	1.7トﾝ
		福祉・病院・外国	188回	20.0トﾝ

9月寄贈 23.7トﾝ
提供 27.4トﾝ

10月の状況 10/1~10/30 寄贈 21.4トﾝ 提供 22.4トﾝ

提供 132団体、197回、22.4トﾝ

団体別	提供重量	団体別	提供団体	提供回数	提供重量
企業・生協・JA等	13.7トﾝ	行政・社協	32団体	47回	4.3トﾝ
フードドライブ	7.1トﾝ	地域のフードバンク	22団体	49回	8トﾝ
購入	0.6トﾝ	子ども食堂等	59団体	78回	5.7トﾝ
		自立支援施設等	3団体	4回	0.2トﾝ
		福祉・病院・外国関係	16団体	19回	4.2トﾝ

紙幅の関係で感謝しつつ敬称略で報告します。

寄贈

事業者寄贈

日本農産工業(卵・ふかひれスープ)、ココア・コーラ(スプライト)、日本食研(たれ類)、アライドコーヒー、フロンティア物産(チョコレート)、ナチュラルコープヨコハマ(米1.5トﾝ)、西湘労福協(米1.8トﾝ)、ユーコープ(キャンセル品)、ミツハシライス(米0.6トﾝ)

防災備蓄品

鶴見大学、小田原ガス、小川組、マクニカ、横浜市水道局、富士フィルム

フードドライブ

イトーヨーカドー、無印良品、県庁、JAさがみ、そうてつローゼン、連合神奈川、港北社協、相模原労福協、伊達建設、JA横浜、JP労組、YSCC、イオン、クイーンズ伊勢丹、県漁連、神奈川青年教師会、かながわ土建、川崎医療生協、生活クラブ、川崎信金、金泉寺、組沢団地、県労福協、栄区社協、東京サラヤ、クラダシ、エル・ビー・オー、湘南労福協、社福星谷会、第一生命弥生台、湘南とつかYMCA、東京炭酸、弥生特許、横須賀市、ワークピア、ワンエイド他

「在日ミャンマー人の食糧支援」

NPO法人 リンクトゥミャンマー

当会の主な活動の一つは在日ミャンマー人の定住支援事業です。「定住支援」とは外国人が日本で安定した生活を送るための手助けをすることです。その一環として食糧を生活が困窮する在日ミャンマー人の方々に配りし、現在フードバンクかながわ様から頂いた食糧で約50人の生活を支えています。特に最近、新型コロナウイルスの影響で仕事が激減して収入が不安定な在日ミャンマー人や、ミャンマー本国のクーデターにより帰国できず、ビザの関係で就労できない在日ミャンマー人がこうした食糧支援を必要としています。フードバンクかながわ様に関わる全ての皆様のご支援に心より感謝し、今後も在日ミャンマー人の方々への食糧支援を継続して参ります。(詳細の活動はHPをご覧ください)



合意書締結団体

寄贈締結団体	200団体
提供締結団体	253団体
行政・社協	56団体
市民団体	197団体
(子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)	
食品回収拠点	309か所

賛助会員寄付状況

団体会員	197団体	634口
		632万円
個人会員	282人	1,416口
		1,416千円
寄付		
2021年度	7,862,268円	
累計	44,289,365円	

フードバンクかながわの皆様へ感謝

横須賀市 顧問 永妻和子



コロナ禍で、本市はこれまで予測できなかった事態に陥りました。

SDGsへの意識が広がり、フードバンク事業は徐々に注目され始めましたが、コロナ禍でその重要性が一層理解されるようになったと思います。

本市は、これまでも生活が苦しい市民の方々に食料を提供してきましたが、親元を離れ市内に住み登録のない下宿生さんなどご苦労されているだろうと、昨年のゴールデンウィークから学生食料支援を始めました。

これを契機に、昨年末は大規模な食糧支援を実施し、今年1月からはコロナ禍で減収となった全ての市民や子ども食堂等へ、毎日食糧支援をするようになり、これまで提供した食数は延べ3万食を超えました。

食の提供に呼応して、市役所には多くの市民・企業の方々が食品のご寄贈にお越しくださるようになりました。

こうした取り組みを可能とした礎に、フードバンクかながわさんがあることは申しあげるまでもありません。ここに厚く御礼申し上げます。

今後も様々な視点でSDGsに取り組みたい。今、改めてそう思っています。(筆者は前横須賀市副市長。10月にフードバンクかながわを見学)

オンライン・情報交換会参加者募集中

「はじめてみませんか フードドライブ・食品寄贈」

情報交換会 11月24日14:00~16:30

参加者募集中 申し込みによりURL送付

info@fb-kanagawa.com

神奈川県・鎌倉市・イトーヨーカドー・日本食研・中栄信金・フードバンクかながわの情報を共有

寄贈・フードドライブ団体拡大中



クリスマスのお菓子を募集中

募集期間11月1日~12月22日まで
昨年クリスマスのお菓子募集に、たくさんのご寄付があり、皆様の温かい思いを施設やひとり親世帯の子どもたちへお届けしました。我慢することの多い子どもたちにクリスマスのお菓子を今年も募集します。



2021食品ロス削減コースターデザイン募集

募集期間11月1日から2022年1月31日

小学生部門・中学校生部門・一般部門 最優秀作品をコースターに 最優秀・優秀作品にクオカード進呈
詳細はフードバンクかながわまでご連絡ください。

神奈川県子ども育成課子ども支援web講座
フードバンクかながわの活動掲載

